

令和4年度第1回 所沢市青少年問題協議会

会 議 録

令和4年5月31日

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 4 年度 第 1 回所沢市青少年問題協議会
開 催 日 時	令和 4 年 5 月 3 1 日（火） 午前 9 時から 1 0 時
開 催 場 所	市役所 8 階大会議室
出 席 者 の 氏 名	別添名簿のとおり
欠 席 者 の 氏 名	別添名簿のとおり
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 所沢市優良青少年及び青少年健全育成功労表彰について (2) ひきこもりの方などの社会参加のための支援について (3) 情報交換
会 議 資 料	① 次第 ② 所沢市青少年問題協議会委員名簿（資料 1） ③ 所沢市青少年問題協議会会長表彰候補一覧表（資料 2） ④ 所沢市優良青少年等の表彰規程及び選考基準（資料 3） ⑤ 所沢市青少年問題協議会条例（資料 4） ⑥ 令和 3 年度青少年非行防止対策事業報告（参考資料）
担 当 部 課 名	こども未来部 町田部長、市來次長 青少年課 三上課長、田中主査、三辻主査 （事務局）こども未来部青少年課 電話 04（2998）9103

様式第 2 号

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	1 開会
議長	2 会長あいさつ 藤本正人市長よりあいさつ
	青少年問題協議会設置条例第 6 条第 2 項により会長が議長を務める。
	3 議事
	（１）所沢市優良青少年及び青少年健全育成功労表彰について（非公開）
	（非公開のため、削除。）
議長	議事（２）に入る前に傍聴人の確認をお願いする。
事務局	傍聴人なし。
議長	説明員の入室を許可する。
	（所沢市社会福祉協議会相談支援課課長及びひきこもり・アウトリーチ支援担当職員入室）
議長	（２）ひきこもりの方などの社会参加のための支援について
	所沢市社会福祉協議会相談支援課職員に説明をお願いする。
説明員	ひきこもりの方の社会参加のための支援についての説明。
	アウトリーチ支援員は、対本人型のアウトリーチ支援（訪問、電話、メール、外出支援）の実施、居場所づくり、家族支援、研修会、勉強会の実施、関係機関、団体との連携に向けた取り組みを行っている。
	所沢市から生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を行う相談機関として委託を受け、支援を行っており、令和 3 年 4 月から、ひきこもり状態の方への支援のため、あったかサポート「リーチ！」という拠点を開設した。
	関係者や関係機関による情報把握数 9 6 件のうち、支援が開始したのは、3 8 名

	であった。20代～30代は59%、40代～50代は22%、相談者が若い方が継続した支援につながりやすい結果となった。 「リーチ！」では、フリースペースとして居場所の開設、女性限定の居場所の開催、社会や人との関わりの練習のための「朝活・夕活」・軽作業の場・グループワークの実施を行っている。 2つの事例を紹介する。事例を通じて、外に出られたから次のステップに移れるとは限らない、本音と建前がある、本人の関心にとことん付き合う、焦らない、支援者自身の価値観や考え方の癖をしっておくという事が大切で、支援する際、職員は気を付けている。 家族を通じて本人を支援する視点も大事なため、家族が支援者となつたり、家族の不安の解消、本人の家庭内での孤立の解消を図るため、家族交流会等を開催し、家族支援を行っている。
議長	今の説明に対して、質問等はあるか。 (質疑応答)
委員	「女子会」は、実施回数8回で参加者数9人とあるが、毎回平均9人参加なのか。また、フリースペースと女子会とどちらの参加者が多いのか。
説明員	女子会は、延べ9名である。フリースペースの方が利用者は多い。フリースペースは、基本的には本人のペースで過ごしている。
委員	相談者は40代が多いが、支援につながらなかったのはなぜか。「朝活・夕活」は、有償か。この後の支援は、就労につなげていくのか。
説明員	40代は、情報提供者が地域の民生委員や自治会の場合が多かったり、家族が交流会に参加しても、氏名等を明かしたくない等、支援を拒否するケースもあり、家族の積極的な相談や本人からの相談ではないので、支援につながらないケースも多い。朝活・夕活は、無償。本人が就労を希望すれば、サポートしていくが、就労のみをゴールとせず、まずは、本人の興味に沿って支援していく。
委員	アウトリーチ支援員1人につき、何人くらいの相談者を受け持っているのか。
説明員	支援員3人で38人なので、1人につき、10人から12人受け持っている。2人体制で関わったり、窓口は1人でもその他の担当課や職員と連携して関わった

	りしている。
委員	支援員はどのような資格を持っているのか。医療機関につなぐケースの連携体制や判断はどのようにしているのか。
説明員	支援員は、社会福祉士、キャリアコンサルタント、精神保健福祉士の資格を持っている。 医療機関や関係機関との連携は、昨年度のひきこもりU×会議を通して各関係機関との連携を始めている。また、担当支援員以外の職員とも相談しながら必要に応じて、連携していく。
議長	以上で議事（２）を終了とする。 （「所沢市社会福祉協議会相談支援課課長及びひきこもり・アウトリーチ支援担当職員」退室。） 会長が所用により退席したため、議長が会長から副会長へ交代する。
議長	（３）情報交換について 委員各位から青少年に関わる日頃の活動報告や意見をいただき、情報交換をしたい。
委員	（情報交換・質疑応答） 先日講演会で、校長等の働きかけもあったが、保護者が学費等の手続きをしてくれず、高校に入学できなかった生徒のケースを聞いた。公的機関が介入できるものなのかどうか。
委員	以前赴任していた中学校でも同様のケースがあった。高校に入ってから学費以外に様々なお金がかかり、その支払いは保護者になる。全額公費で負担し、保護者の負担を無しにはできないので、保護者の協力が必要である。現場の各学校の校長や担当は、生徒が進学したいのに出来ない事にならないように、保護者を説得している。
委員	放課後デイサービスを利用している保護者と接する機会があり、中学校へ進学する時、近くの学校に支援級が無く、遠くの学校に通学するには、親のつきそいが

	必要で仕事を辞めたりすることがあると聞いた。支援級のあり方について知りたい。
委員	特別支援学級の設置は、埼玉県でも進めていく方針である。就学相談の結果、必要数を教育委員会で把握し設置検討する。地区によっては、生徒数が増加し、充てられる教室が無い学校もあるが、毎年、小・中学校で増加している。
委員	所沢市としても増やしていく方針である。来年度も増やしていく計画を進めている。以前の赴任校でもあったケースであるが、支援級の生徒が転校等により0人になると、支援級の教員は失職するので、継続的に支援級として存続できるかも計画に入ってくる。支援級の生徒数が少ないので、学校を卒業してからの事を考えると通常学級に入れる生徒は、混ざって学ぶ方が良いという考え方もあるので、就学相談等を通して必要な所に設置していく。また、教員不足により配置できない現状もある。
議長	以上で議事（３）情報交換を終了とする。 （議長解任）
事務局	４ その他 審議いただいた『優良青少年及び健全育成成功労表彰』については、７月８日（金）に開催される社会福祉大会で行う予定である。新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度と同様、受賞者等関係者のみでの開催予定である。 ７月・１１月の「青少年健全育成街頭啓発キャンペーン」、２月の「家庭の日推進事業」青少年 - 明日へのメッセージ 優秀作文表彰式の出席案内について、開催する際には、ご案内させていただく。 「参考資料 令和３年度青少年非行防止対策事業報告」としてＮＰＯ法人ガーディアンエンジェルの委託事業について説明、クリアファイルに同封した配布資料の案内を行う。 ５ 閉会 以上をもって、令和４年度第１回所沢市青少年問題協議会を終了する。

所沢市青少年問題協議会委員名簿

* 名簿掲載順は設置条例第3条の第4項(1)～(5)号の委員の順になっています。

No.	役職	条例該当号数	氏 名	職 名 等	出欠
1	会 長	/	藤本 正人	市 長	出席
2	委 員	(1)	四沢 浩美	一般公募	出席
3	〃	(1)	黒澤 潤子	一般公募	出席
4	〃	(1)	太田 恵理子	一般公募	出席
5	〃	(1)	高橋 操	一般公募	出席
6	〃	(2)	本橋 栄三	所沢市社会福祉協議会会長	出席
7	〃	(2)	中 悠亮	所沢市PTA連合会(宮前小学校PTA会長)	欠席
8	〃	(2)	田部 真一	所沢市社会教育委員会議長	欠席
9	〃	(2)	柳瀬 圭子	所沢市民生委員児童委員連合会理事	出席
10	〃	(2)	並木 邦男	所沢市子ども会育成会連絡協議会会長	出席
11	〃	(2)	須澤 一男	青少年育成所沢市民会議会長	出席
12	〃	(2)	常岡 勝己	所沢地区保護司会所沢三芳支部支部長	出席
13	〃	(2)	赤池 慎一	所沢市青少年育成推進員協議会会長	出席
14	〃	(2)	青木 照子	所沢地区更生保護女性会会長	出席
15	〃	(3)	大熊 美佳子	知識経験者(秋草学園短期大学)	出席
16	〃	(4)	宮下 敏郎	所沢警察署長	出席
17	〃	(4)	岡田 真彦	所沢児童相談所長	出席
18	〃	(4)	浅倉 直樹	埼玉県立高等学校長(所沢中央高等学校長)	出席
19	〃	(4)	出居 正之	所沢市立小中学校校長会(南陵中学校長)	出席
20	〃	(5)	中島 秀行	所沢市教育委員会教育長	出席